

アカンサス ポータル通信 第17号

最近行った3タイプの教材作成支援

FD・ICT教育推進室ではe-Learning教材の作成支援を行っています。私も何人かの教員や職員の依頼を受け、e-Learning教材作成や講演などのデジタルコンテンツ化に関わらせてもらっています。本稿では、最近私が行った教材作成・デジタルコンテンツ化の作業から3タイプを紹介します。さらに説明や相談を求める場合がございますら、FD・ICT教育推進室までお問い合わせください。

【A】PowerPointに合わせて映像と音声を流す (アカンサスポータルで視聴可能)

2009年9月29日 ハラスメント講習会 (使用ソフト: Adobe Presenter 7)

(a) メイン画面

PowerPoint,
画像, 動画 など

(b) サイドバー

講演者の映像,
補足的な動画

(c) 目次

対象のスライド
に移動

(d) ツールバー

巻戻し, 早送り,
一時停止 など

このタイプの教材を作成するには、「ビデオ(または音声)」と「PowerPoint ファイル」が必要です。典型的な作成のプランは、次のようになります。

- (1) FD・ICT教育推進室のスタッフが授業、研修会の風景を撮影します
- (2) 講師よりPowerPointファイルをいただきます
- (3) FD・ICT教育推進室で作業をします

(4) 講師に内容をチェックしてもらいます

もちろん、「動画を使わず音声のみ」や「音声のみ別に録音(アフレコ)」なども可能です。この方法で「大学・社会生活論」の欠席者用 e-Learning 教材が作られています。

【B】 講演の様子をそのまま流す (アカンサスポータルで視聴可能)



著者の授業の様子 (Flash Video としてデジタル化)

このタイプのコンテンツ作成には、動画データが必要です。主な作成プランは、次のようになります。

- (1) 講演会、授業にてビデオ撮影をします
- (2) FD・ICT 教育推進室で編集作業をします
- (3) 講師に内容を確認してもらいます

カット編集や雑音の除去などを行わなければ、労力的に簡単な作業ですが、収録時間が長いと動画の書き出し(エンコード処理)に時間がかかります。教職員の FD/SD 研修会やハラスメント講習会、学生のキャリアパス講習会で依頼される場合が多いです。

【C】 素材集めやスライド作成支援、動画を使ったパソコン操作手順教材作成の解説 など…

前述のような授業や講演の再利用ではなく、学習効果を求めて新たに教材を設計する場合は、先生と十分な相談をもった上で目的の設定を確認したり、対象者や学習内容の分析や改善案の検証を行いながらコンテンツを作成します。その際、有用と思われる素材の収集活動も行います。下の写真は、一般的な化学実験の操作手順を 3 分程度の動画として収めているところです。



学生クルーと一緒に
化学実験の操作を撮影

ちなみに FD・ICT 教育推進室には、「ICT 教材作成部門」という部門があり、インストラクショナルデザインの手法を活用した ICT 教材の企画立案・作成支援も行ってくれます。興味のある先生方は連絡をとってみてはいかがでしょうか。ただし、制作物の使用範囲(基本は全学で利用)や予算や人的労力、機材の関係から全ての相談に応じられるわけではありません。

【文責 末本 哲雄】

制作:FD・ICT教育推進室 (FD/SD・ICT教育支援部門)
末本 哲雄 ・ 竹本 寛秋
電話:内線 角間(81)-5804
メール:e-support@el.kanazawa-u.ac.jp
(ID・パスワードの発行依頼、操作方法もこちらまで)
URL: <http://www.el.kanazawa-u.ac.jp>